

R5年度 授業力向上推進プロジェクト委員会

授業実践内容と評価について

発表内容

1. 実施科目の紹介
2. 授業実践内容
3. 評価方法
4. 成果と課題

実施科目

教科：ビジュアルコミュニケーションデザイン
(学校設定科目)

対象クラス：〇〇工学科2年生

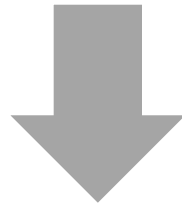
内容：

視覚伝達デザイン分野の基礎として、**色彩**についての基礎的な知識と技術を習得し、応用する能力を身につける。

授業実践内容

本時の目標

配色の基本的な技法が取り入れられている
看板を調べスケッチする



授業で学んだ内容が社会でどのように活
かされているかを知る

授業の展開【導入：前回の復習】



アクセントカラー

デザイン

デザイン

セパレーション

授業の展開【展開：リサーチ スケッチ】



- ・ タブレット端末を使用
- ・ インターネットで見板を調べ用紙に描き写す

※あえてICTを使用しない

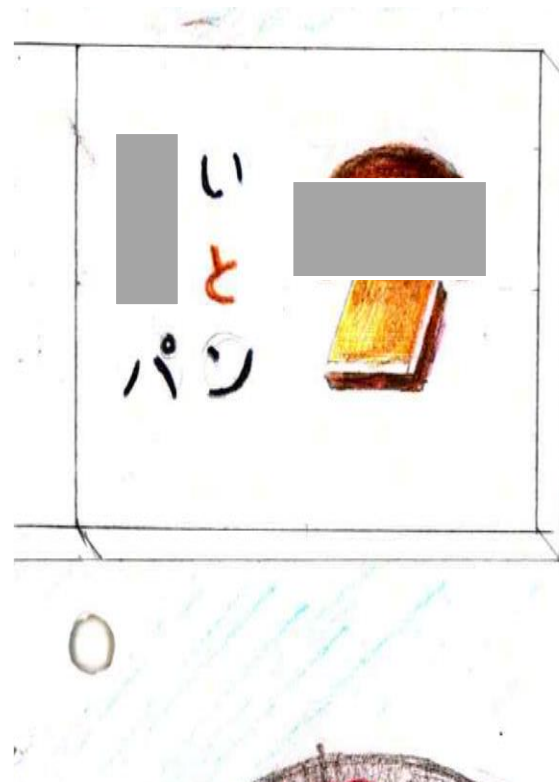
- ・ 描いて終わりではなく頭の中に「図」としてアイデアを蓄積させる
- ・ 手で描くことにより文字と図のバランスや配色を理解しやすくなる

授業の展開【展開：講評会】

- 用紙を書画カメラで投影
- 教員が講評する
→ 評価のポイントを
知ることができる

《講評の例》

書体にインパクトは無いが
一部色を変える工夫をすることで
目立つポイントを作っている。
このことがしっかり表記してある。



←
余白部分をあえて作り、
文字の並べ方をこの
ようにして、デジタル感あり。
全体的にやさしい色を
使っていて親しみやすさ
がある。
単純な形状だけを使っている。
フォントは、その場で目立たせる
ために一部色を変えて天板
してある。

授業の展開【まとめ】

実習等の実技に活かすよう伝えた

➡ 今回の授業がこの後どう活かされたかは
後ほど紹介します！

評価方法

評価方法

思考・判断・表現に絞って評価

- A 調べた看板を描き写し、特徴をまとめることができる。
- B 調べた看板を描き写すことができる。
- C 調べた看板を描き写すことができない。

評価方法

《A評価の例》

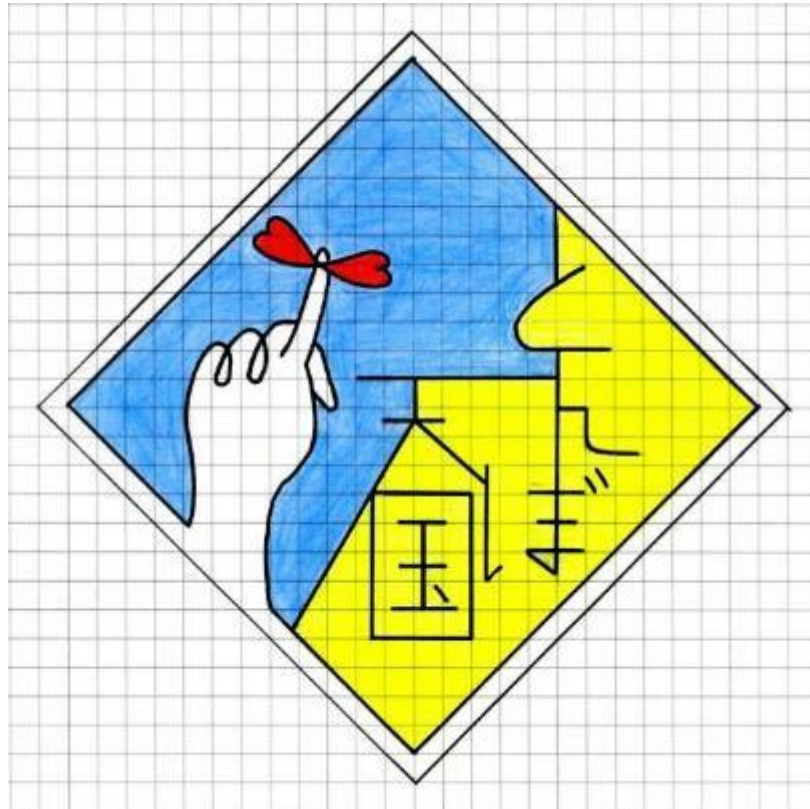
- ・特徴を細かく表記
- ・色鉛筆で着彩し
分かりやすい

※図のみの場合はB評価とした

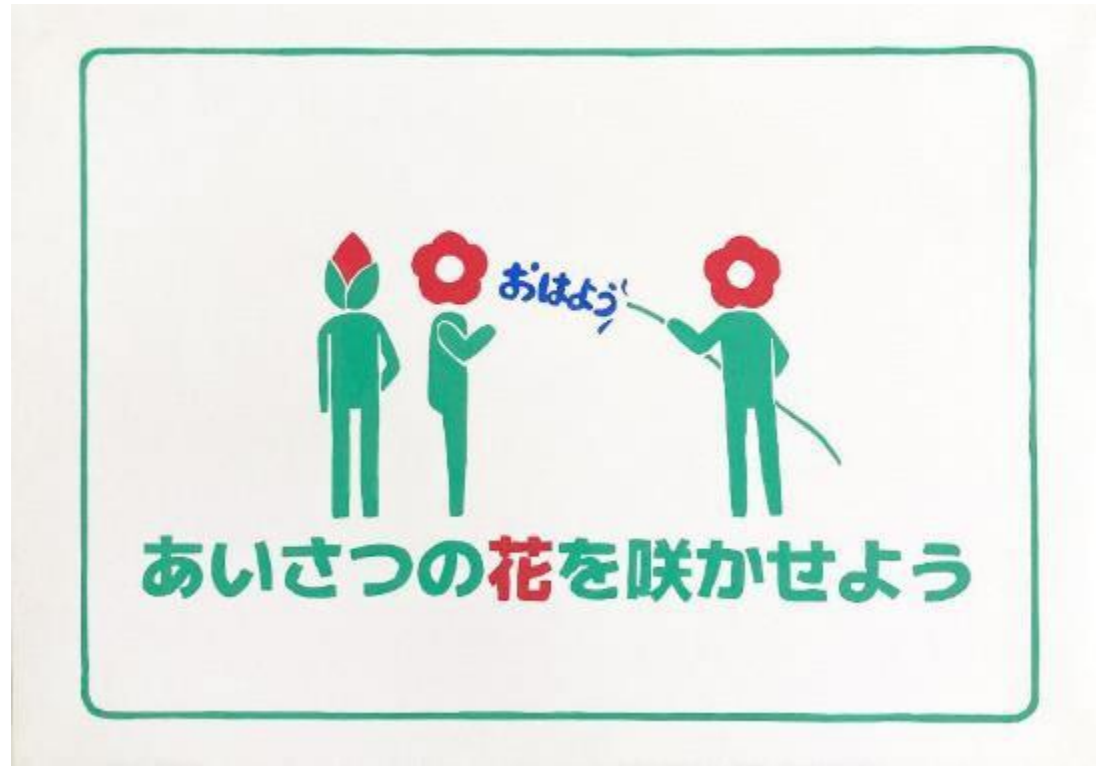


成果と課題

成果：座学から実技へ繋がった



デザイン製図
とんぼ天国看板



デザイン実習
学校マナーピクトグラム

授業から実践へ

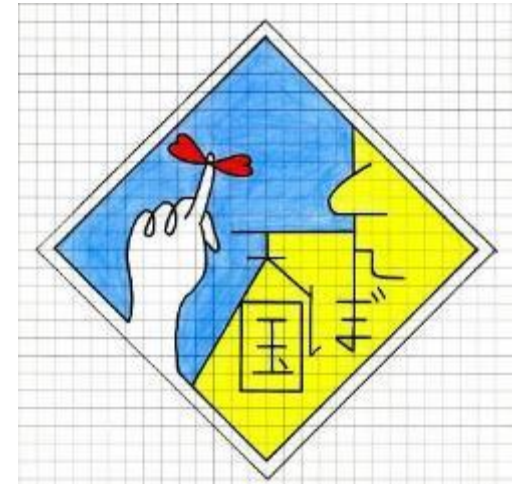
笠松トンボ天国看板デザイン

概要

笠松町からの依頼により、笠松トンボ天国看板を制作した。木曾川畔に位置する「笠松トンボ天国」は、5つの池から構成されている。この笠松の自然と共生を考える視点から、看板のデザインを提案する。

製作物

5つの池に設置する屋外立て看板デザイン
(トンボ池・中池・古池・まこも池・造成池)



→学校の評価とは違う評価をもらうことができる

今後の課題

プレゼンテーション能力を身につけさせる

- ・制作物に説得性を持たせ、言葉にすることができる。
- ・分かりやすく相手に伝えることができる。
- ・自身の制作物の魅力を伝えること。